

さみしい夜の句会報 第135号 (2023.9.17-2023.9.24)

- ◆ 参加者：ひうま、もふもふ、地下二階、しまねこくん、りゆうせん、奥かすみ、温(ぬる)、流天、何となく短歌、池田突波、古城、水の眠り、stusya、透影弦、酔名、みくたん、うつわ、西脇祥貴、元さん、おかもとかも、天やん、藤井臯、西沢葉火、太代祐一、踊る六郎と手毬唄の会、白雨冬子、石原とつき、石川聡、花野玖、蔭一郎、さー、片羽きせ、雲雀、梓川葉、とるぼとる、まつりべきん、小沢史、萩原アオイ、ゆりのはなこ、上崎、海馬、星野響、ダリア200、佐竹紫田、crazy lover、donkey、カゲキ、ちやげぞう、透影弦、赤端独楽男、円山すばる、碧乃そら、雪上牡丹餅、たろりずむ、ばさ、鴻鵠之志、凧ちひろ、雷(らい)、鴻鵠之志、涼閑、風を見たのは誰でしょう？、円山すばる、しるとも、砂原妙々、在原涙、みんな、宮坂愛哲、燕雀之、チヨコミント・ブルー、ゆう(かっしー)、むくみんなママ、馬勝、富永颯二、抹茶釜魚、月波与生(七四名)

◆ 7・7、5・7・5 (川柳・俳句)

秋茄子魔法が解けた下半身 馬勝

クラウドファンディングの流れ弾に当たる 海馬

反対に回せば柿に戻る皮 しまねこくん

かわるがわるおれを清書してくれないか おかもとかも

新宿の消印残す中傷句 富永颯二

雨を一本抜いてみる 西沢葉火

長生きをして物足りぬ敬老日 しまねこくん

あずなぶるシヤア専用の赤い羽根 たろりずむ

黙殺か撲殺かジャスミンティー飲むか 藤井臯

全員でゴールテープを無駄にする おかもとかも

貞子とかぶるニュース速報 たるりずむ
カプセル・トイの見えないへその緒 海馬
風鈴の語りはいつもほの暗い 海馬
ピーマンに一番近い王子様 しまねこくん
トータムポールから今年は抜け出そう 藤井臯
ニードルを必要とする夜を開ける 片羽雲雀
女湯と男湯分かれおでん鍋 さー
宵越しの角をぶつける電子辞書 ひうま
御苑にてヨガをやめない女たち 太代祐一
一間について秋風一答す しまねこくん
鉄アレイきみはわたしの外部です 蔭一郎

家を継ぐつもりはないと秋彼岸 もふもふ
秋雨を集めて囃し立てるなよ 地下二階
群読の続きとしてマンモス狩り おかもとも
舞い上がる二蝶のロンド天高く 流天
秋彼岸予告篇の中を生きて 池田 突波
愚弄され折れるころや露の玉 syusyū
また今日も柘榴を食べて臨時お夜勤 みくたん
吾子の言うみんな(雨)が近き時雨雲 天やん
髪や香やふわりあんと秋日向 鈴
秋、木は駅 白雨冬子
ブシャー！ブシャー！梨の武蔵は死んだの差 石川聡
どしや降りの墓参なんにもすることなし 花野玖
品のある来賓席のパイプ椅子 まつりぺきん
待ち合わせ血をにじませた梨持つて 小沢史
わが秋思レントゲンには映らない ゆりのはなこ
棺にはうすむらさきの飴玉を 上崎
さみしいとさびしい連れて夕花野 星野響
秋の雨恋なのか性欲なのかわからない ダリア 220
水の中漂うだけ、そうしよう donkey

誘えども誘えど断られ独り旅 カゲキ・ちやけぞう
数(人を食った)分(母の埋まる土)間 西脇祥貴
国道脇なんぼか折れてる曼珠沙華 赤端独楽男

ピストンを止めるじつくり見たいから 雪上牡丹餅
六月の頃の記憶のない九月 雷

コスモスの夢に囚われ無口な夜 涼閑

ジヨバンニにまだなれなくて星流る しろとも

むしのねにみましのねじのゆるぶよる 砂原妙々

フェス参りプテラノドンを飼い慣らし みんなん

鯛雲次こそ当たれ宝くじ 宮坂変哲

ギブスから滲み出る自我を舐めてみる かしくらゆう
寝てばかり何も残らず悔い残る チョコミント・ブルー

別れた恋人と飲む二杯目のコーラ 月波与生

◆ 5・7・5・7・7 (短歌)

ずとずととしがみついてた離れたら溺れるとばかり思っ
てたから 何となく短歌

失くなった選択肢のうち大半は端から叶わぬ夢物語 何と
なく短歌

自己愛のかたまりだろうか阿部定の境界線がわたくしにも
ある 水の眠り

優しさは所詮偽善だ。それでもきつと、今も誰かが救われ
ている 碧乃 そら

世の中はグラデーションもあるけれどミントチョコよりバ
ニラをえらぶ 水の眠り

譲れないことがあります 心臓と目は自分色に塗りたいの
です 奥 かすみ

暗闇に灯った君が天使だと胸にしまつて頼むチューハイ
古城

しめやかであけない夜であるように明るくなった世界に線
引き 透影 弦

おっさんに頭を下げて飲む高級酒より1人で飲む安酒のほ
うがいい 酔名

消えて行く太陽の日々勇ましき夏よお疲れ秋の労い 元さ
ん

ういういしい若草色は鮫をミディアムをこだわりすぎる
石原とつき

都合の良い女でしたがあまりにも最低な人は捨てるまでか
も 梓川葉

暖色を着てくれという君の服黒青ばかり吊るされている
とるぼとる

死が降りてくる夜ばかり待っている私は明日も鳥籠にいる
萩原 アオイ

星が見えないこんな日は一人きり世界に取り残されたみた
いで 佐竹紫円

死んじまえ言われた方が気楽だねおいぼろる明日は我
が身か crazy lover

石上に三年いれば発芽する前に心が枯れるね無情 透影
弦

どこからか聞こえてくるよさみしげなワルツを踊る少女の
足音 風ちひろ

振り払い親より守ってくれた優しい手握りたくて月を見上
げる 円山すばる

忍ふれと色に出てつる我か恋は物の文無き一方の胸 ぽさ
美しく切なき声で鳴く君は空に焦がれし籠の鳥らむ 鴻鵠

之志
絶対に僕の物にはならぬのに毎月お金払わされてる Take

虚しさを感じた先に行き着いた『死』という選択 今はまだ、でも 在原涙
鈴虫や凜々と鳴く秋の宵咽び泣く吾その気高さに 燕雀之心
迷いきて騒ぐ足長蜂を、一匹一匹外へと誘う むくみんママ

◆詩

堂々と

水路に一輪 曼珠沙華

、ケ・セラ・セラ

なんとかなるわよ、

美輪様のような美しさ。(温(ニ))

書かれなかった音楽は存在しないのか
書かれたけれども歌われなかった歌は存在しないのか
書かれたけれども歌われなかった歌は
存在するといえるのか
脳裏で鳴るものは存在するのかもしれないのか
そもそも存在するとはどういうことか
音楽は存在するのか(風を見たのは誰でしょう?)

ヘッドライトが眩しくてサービスエリアでひと休み
灰色の霧は幻想なんだな
高級車は乗りこなせないけど
中古の軽はまずまずの乗り心地
小さなめのブルーシートだけど
ゆったりと何人かは座れるみたい
ハイウェイを降りて旧街道へ (うっわ)

◆作品評から

世の中はグラデーションもあるけれどミントチョコよりバナナをえらぶ 水の眠り

～私も原点バナナを食べたくなります。(チョコミント・ブルー)

推し変はやめてあなたにかぶりつく 東二ころ

～ジャニーズ句として読んでしまう。「あなたにかぶりつく」が妙に生々しい。作者にとっては迷惑なことだろうか。

(月波与生)

コスモスと気絶している風がある 蔭一郎

～(コスモスと／気絶している風がある)と読むか(コスモスと気絶している／風がある)と読むか。ちなみに秋桜と最初に書いたのはさだまさしらしい。(月波与生)

今日飲んだ水の量より少しだけ多いくらいが目から出ていく 萩原アオイ

～いやいやそれはないだろうと思ったが、すぐに哀しみをすっかり現した言葉だと感じた。(月波与生)

友殴り我殴り木は動かない 修平

～(友が叩いても自分が叩いても木は動かない)と読めば平凡であるが(自分が友を殴り、友も自分を殴った平和な日…)的に読み異常に感じた。(月波与生)

風鈴の語りはいつもほの暗い 海馬

～いつも、の部分はよいのですか？(抹茶金魚)

カシオペア自分本位のSEXする ダリア 220

『著『いちご畑と…』がAmazonで☆ひとつを付けたのが誰かうすうす知っているが曰く「性的な句がけしからん」のだそうだ。きつと自分本位のSEXをする人なのだろう。

(月波与生)

息吸って吐くのも面倒くさくってグラスのように砕けたくって 何となく短歌

『呼吸するのが面倒なキャラは『北斗の拳』に出て来たがこの作品は「グラスのように〜」の後半で緊張感を加速してあのキャラを払拭する。(月波与生)

振り返ったままの蜥蜴で死んでいる 雷

『「蜥蜴が」ではなく「蜥蜴で」がいい。では何故死ぬ間に振り返ったのだろうか。やがて静かに死に際を考える。(月波与生)

彼岸花土手を次々降り川へ しまねこくん

『本来、葉も出さずひと所に群れてじつと咲くだけの彼岸花が、一斉に「土手を次々降り」て川へ飛び込んでいく。

川面は真つ赤な血の様に染まる。彼岸花の移動は想像し難いでしょうけど、例えば宮沢賢治のドツテ、ドツテと歩く電信柱の童話等を知っていればわかるのではと。(石川聡)

翻る〰世代に押すいいね 太代祐一

『ロシア・バルチック艦隊との日本海海戦にあたり、全軍の士気を鼓舞するために〰旗(〰後がない)を掲げ「皇国の興廢この一戦にあり。各員一層奮励努力せよ」と言った秋山真之のエピソードを引いて、Z世代の川柳の旗手像

を浮き彫りにしている？

巧いなあ！（石川聡）

十代を呪い返すみどりの指 西脇祥貴

　　～なんてみどりの指なのか気になります。呪いとみどり色からの連想で、映画『エクソシスト』の主役の少女リーガンが悪霊に憑依されて吐いていたのが得体の知れないみどり色の液体だったのを思い出しました。（石川聡）

雑誌からはみ出した水または粉 おかもとも

　　～この句見逃していましたが面白いです！雑誌から水や粉がはみ出しちゃう発想が新鮮。おいらは食い意地が張ってるから、デュラム・セモリナ粉とかパン用の小麦粉「春よ恋」とか、季節的に新蕎麦粉と水を思い浮かべるけど。

他にも色々読める句ですね（石川聡）